

リウマチ通信

Vol.2

平成25年3月号

今回は生物学的製剤（せいぶつがくてき せいざい）について紹介します。

Q 生物学的製剤って何ですか？名前からして、とっつきにくい感じですが。

A 生物学的製剤は、タンパクからなる薬です。バイオの技術によって、設計通りのタンパクを作って、それを薬として活用しているのです。

Q 生物学的製剤は新しいタイプの薬なのね。どんなふうに効くの？

A 生物学的製剤は、主に抗体といって特定の細胞、特定の分子に結合して、作用をおさえる力を持っています。治療標的をしぼって、病気と闘うには最適な薬剤です。

Q 関節リウマチの治療標的ってなんですか？

A ひとつは、炎症性サイトカインといって、リウマチの関節で、たくさん作られている物質です。それらが、関節を包む膜（かつまく）を腫らしたり、免疫細胞や骨を破壊する細胞の働きを強めたりして、関節を傷めます。もうひとつは、免疫を担う中心的な細胞（Tリンパ球）です。

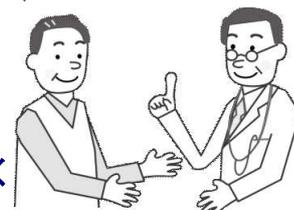
Q これまでの抗リウマチ薬よりも、作用が強力なの？

A 生物学的製剤は、従来の抗リウマチ薬よりも、関節で起きている炎症を抑える力、骨の破壊を抑える力、いずれも強力です。



Q 生物学的製剤は、どんな場合に使うの？

A 主には、メトトレキサートでも、病気の勢いが抑えられない方に使います。メトトレキサートが副作用などで使えないけれども、病気の勢いが強い方にも使います。関節破壊の進行が非常に速い方には、関節リウマチの発症からなるべく早い段階で使います。



Q 生物学的製剤の副作用は？ 注意点は？

A 炎症性サイトカインや、Tリンパ球は、外敵が体に侵入した際に体を守る働きをしています。生物学的製剤によって、関節リウマチで起きている過剰な炎症が抑えられ、同時に感染防御の力も、ある程度弱まると考えられます。したがって、肺炎、腎盂腎炎などの感染症が生じる場合があります。特に、高齢の方や、合併症がある場合には注意が必要です。治療中は、体調変化に気をつけて、普段と変わったことがあれば予約日まで待たずに、早めに受診することが大切です。

(文責 駒野医師)



「アンケート調査を行っています」

リウマチ患者さんを対象にアンケート調査を行っております。これまでのリウマチ治療に関する詳しい内容、ご家族の状態やご趣味などもお聞きしております。この内容はリウマチ科のカルテの初めのページに掲載される予定で、患者さんの病名、合併症、リウマチの状態、これまでの治療内容、家族構成や仕事、趣味なども一目でわかるようになります。これは我々医師やコメディカルの人達が重要な合併症を見落とさないため、また仕事や趣味のこともなども勘案して、ひとりひとりの患者さんに最適な治療選択をしていきたいと思っているからです。このカルテ表紙の内容は近々皆様に印刷してお配りします。どこの病院にかかっても、それを見せれば一目で病気の状態やこれまでの治療内容が伝えられるすぐれものです。また、このカルテ表紙の特徴として、本人できれば家族写真をいれていることです。これにより、文字や数字だけで書かれた病気に関する無機質なカルテに「ひと」という命が吹き込まれます。病気を治すだけでなく、「ひと」そして「その生活」をお助けしたいという気持ちを込めて、あえて（家族）写真を入れることにこだわりました。また、仕事や趣味もお聞きするのもそのためです。是非ご協力を宜しくお願いいたします。

（文責 大村医師）

「リウマチポスト」をつくりました。これはただのご意見箱ではありません。こんなことを聞きたい、教えてほしい、こんなことしてほしい、こんなことできたらいいな、こんなことで困っている、病院のこんなところが好き、こんなところが嫌い、何でもお気軽にリクエストしてください。寄せられた御意見をもとに、新たな企画をしたり、リウマチ新聞でとりあげたり、直接患者さんに説明したり、病院として取り組んだり、と思っています。ご自身のつくられた歌とか作品とかも入れてもらえば、リウマチ新聞にとりあげさせていただくかもしれません。皆様とのコミュニケーションを仲介してくれるリウマチポストを是非ご活用ください。

（文責 篁 看護師）

